



ベトナムで道路を渡るコツ

3月中旬に観光で訪れた、ベトナム・ホーチミンについて、3回に渡って書かせて頂いています。

後編は、ホーチミンの交通事情やその他の観光などについてですが、まず現地に行き驚いたのがオートバイの数です。もちろん、それまで事前情報を仕入れていたとはいえ、広い道路を数え切れないほどの大群が走っているのを見ると、そのエンジン音の迫力やスピードに、改めてビックリしてしまいました。

ツアーのガイドさんによれば、ホーチミン市は人口900万人に対し、オートバイの数は何と500万台。車も多少走っていますが高額過ぎるため、庶民はオートバイを持つのが普通です。家族を席の前後に乗せた、3人乗りや4人乗りのバイクも時々走っていました。また、50ccなら16歳以上の誰でも免許なしで乗れる…といった事情もあってか、見たところ交通規則もあってないに等しいのも驚きです。信号自体あまり設置されていない上、無視して走り抜ける人もけっこう見られました。

では、我々歩行者が道路を渡りたい時は、どうしたらいいのでしょうか？ そ

んな疑問を抱いていると、ガイドさんがコツを教えてくださいました。それは…「ゆっくりしたペースで足を止めずに渡る」。そうすれば、バイクの方で適当に避けてくれるので大丈夫なんだそうです。逆に、立ち止まったりすると向こうのタイミングがズレて、接触する危険が増すとのこと。実際にやってみると、なるほど、普通に歩いていけばほとんど危険はありません。体の近くスレスレを走り抜けるバイク群を感じつつ、“郷に入っては郷に従え”とはこういうことを言うのだな、などと妙に感心してしまいました。

さて、話題は地上から上空に移りますが、ホーチミン市で一番高いという展望台「サイゴン・スカイデッキ」へも上りました。ここは最近オープンした高層ビルの中であり、入場料は何と日本円で900円ほどと、かなり高額です。そのせいか、展望台には外国人観光客ばかり。

とはいえ眺望は非常に素晴らしく、うねりを見せながら流れるサイゴン川やゆったり進む船の数々、そして川を挟んで続く街並みは、すごく雄大です。まだ高層建築も少ないためか、遠くの地平線までよく見渡せ（逆に、ホーチミンの地上からは、このビル自体がよく見えます）、時間があれば半日ぐらいノンビリ過ごしていたいほどでした。聞けば、これからオープンする商業ビルもかなり多いとか。確かに建設中のビルもいくつか見えたので、次回以降のお楽しみにしたいところです。

まだまだ、ご紹介したい場所や話題は尽きません。初めて訪れたホーチミンは、伝え切れないほど魅力ある楽しい場所でありました。暑さや貨幣単位の違いなど、戸惑うこともいろいろあったものの、ぜひまた訪れたいと思います。

じんぼう・みか

法政大学卒業後、文具メーカー勤務を経て業界誌記者となり、1993年独立。

取材記事、コラムなど連載。近著「パチンコ年代記」（バジリコ、07年）



◀道路を埋め尽くすオートバイの大群